

提案件名 市役所での『こども参観日』の実施

提案者 個人 区分 アイデア

現状及び問題点

職員の家族が、市役所でどんな仕事をしているか知る機会がない。

提案の内容

子ども参観日は、学校で実施される授業参観日とは逆で、夏休み・冬休みをはじめとした学校の休業日に、子どもが自分の保護者等の職場を見学する取組です。

子どもが、保護者等の働く姿を間近に見ることにより、自分の将来や「働く」ということについて考えたり、また、家族で仕事について話し合うなど、コミュニケーションを深めたりするきっかけになることをねらいとしています。

(以下 HP より)

岡山県教育庁生涯学習課企画推進班がすでに実施して、参加企業や市町村を募っており、市役所では倉敷市や和気町が参加している。

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.okayama.jp/page/290617.html>

夏休みに合わせて、職員の子どもがパパママの仕事を知る機会を与えてほしい。市長室訪問や、名刺交換、庁内めぐりなどどうか。(市民に迷惑かけない配慮は必要と思われる)

期待される効果

職員の子どもがパパママの仕事について知り、備前市に愛着をもつきっかけになる。

こどもが親の仕事を理解し、父母に感謝の気持ちや尊敬の気持ちを少しでももてると、職員の意識の向上につながるのでは

関係課意見

【生涯学習課生涯学習係】

家庭教育の支援、ワークライフバランスの視点による男女共同参画等という点では、今後推進していく取組であると思われます。

しかし、本提案に従うと、対象者が「市役所の一部の職員の子ども」に限られるという点で公平性の観点から問題があるとは思いますが。

生涯学習課としては、もし「こども参観日」を実施するのなら、まず市役所でモデル事業として実施し、市内事業所へ拡充していくという方法が適当ではないかと考えます。

事業を実施する場合は、生涯学習課では全体的なとりまとめ、モデルプランの提示、スケジュール調整等を行います。ただし、実施についてはそれぞれの受入部署が、(負担が少ない方法で)それぞれで行うこと、また、当日は保護者の協力も不可欠であると思われます。

※現状及び問題点で「職員の家族が」ということでもあるので総務課での検討も必要かもしれません。

様式第7号(第9条関係)

提案事項審査報告書
(アイデア提案用)

提案番号 No.16-01	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 市役所での『こども参観日』の実施

審査項目	審査基準					委員会委員 の平均点
	5点	4点	3点	2点	1点	
問題意識	非常によく認識している	よく認識している	認識している	多少認識している	あまり認識していない	2.8点
創造性	着想が非常に独創的である	着想が独創的である	創意工夫している	改善工夫の意識がある	既成のものと変わりがない	2.3点
有効性	非常に効果がある	かなり効果がある	効果がある	多少効果がある	あまり効果がない	2.5点
効率性	非常に効果がある	かなり効果がある	効果がある	多少効果がある	あまり効果がない	2.0点
費用対効果	非常に経済的である	かなり経済的である	経済的である	多少経済的である	あまり経済的でない	2.4点
具体性	非常に具体的である	かなり具体的である	具体的である	多少具体的である	あまり具体的でない	3.2点
実現性	直ちに実現できる	多少の準備が必要である	相当の準備が必要である	内容の検討が必要である	実現は困難である	3.4点
【意見】 採用 3名 否採用 7名 どちらでもない 4名					合計 (総合評定)	19点
					判定	採用 不採用 保留
					表彰	市長賞 優秀賞 参加賞
					ほう賞金	3万円 5千円 500円

審査委員意見

【採用】

- ・子どもが将来働くということを考えるきっかけを提供できると思います。ただ、職員のこどもに限定するのではなく希望者に提供するのと、既に課外授業等で見学は実施されているので、改めて行うだけの工夫は必要だと思います。
- ・提案者の意見と異なる部分はあるが、担当課意見を重視した方法であれば、実現可能と考えます。職員の負担にならないよう、又、見学する子どもが飽きないよう、検討が必要と考えます。
- ・市役所の仕事は子どもにはイメージしにくいと思います。そこで、実際に見学することは親の仕事の少しでも知ってもらえるいい機会、家庭教育支援の一助にもなると思います。

【否採用】

- ・子供がお父さんお母さんの仕事内容を知ることは大事であるが、こども参観日を設けても子供には理解しにくいと思われる。逆に職員（市）が小学校に出向き、出前講座をするところから始めてもよいのではないのでしょうか。
- ・期待される効果よりも受入れ部署の負担のほうが大きいのではないかと思います。
- ・「市職員の小学生」と限定されるため、市全体のイメージアップとしては物足りないのではないかと
- ・社会見学の授業の一環として考えてもよいかと思います。
- ・市役所の仕事は小学校社会科で学習し、社会見学にも市役所へ訪れます。
- ・提案としては具体的で実現性があるが、対象が絞られ、効果が限定的であると判断しました。

【どちらでもない】

- ・小学生へのPRなら、小グループ単位の受付とし「役所のお仕事」として概略紹介と部署巡りという内容で可能だと思われます。
- ・市民の方への配慮や個人情報保護の徹底が必要になると思います。